

「社会システム産業」の本格展開をめざし
「安心システム」を提供する事業を開始



セコムは、「安全・安心」を提供する警備業からスタートしました。

その後、お客様のご要望に応えるために、「安心」「便利」「快適」な各種サービスを提供し、セコムグループの事業領域はセキュリティ、メディカル、保険、情報系、地理情報サービス、教育へと広がっています。

セコムグループの目標は「社会システム産業」の構築であり、それは“あらゆる不安のない社会”を実現することを意味しています。その目標を達成するためには、セコムが提供するさまざまなサービス・事業のすべてを社会のニーズに対応した革新的なものにすることはもちろん、それらのサービス・事業をさらに統合・融合することにより、一層のシナジーを生み出していくことが重要になります。なぜならば、サービス・事業を個別に提供するだけでなく、それらを組み合わせると一つのシステム、一つのパッケージとして提供することによって、お客様により「安心」「便利」「快適」なサービスを安価でご利用いただけるからです。これは、幅広い事業基盤を持つセコムグループだからこそ実現可能なことです。

セコムグループは、このような統合・融合を積極的に推進し、セコムにしか実現できない独自のサービス・商品を社会に提供することで、「困ったときはセコムに頼めばよい」といわれる企業体をめざしています。

ここでは、こうした近年のセコムグループの「サービス・事業の融合」の取り組みを主に取り上げてご紹介します。

■ 家庭用「安心システム」で

ご家庭内のあらゆる「不安」に対応

セコムグループは、“あらゆる不安のない社会”の実現をめざしています。ご家庭内のあらゆる「不安」に対しても、「困ったときはセコム」と頼られ、それらの「不安」を解消するのが、セコムグループの使命であると考えています。そのため、ご家庭に対しては、防犯や防火といった狭義の「安全システム」から、より幅広い「安心システム」として「安全・安心」を実現するサービス・商品をトータルに提供する活動を始めています。

セコムの家庭用「安心システム」は、侵入・火災・ガス漏れ・急病などを24時間オンラインで監視する「セコム・ホームセキュリティ」を中心として、ご家

庭への侵入をより困難にする防犯系商品、火事を未然に防ぐ防火系商品、万一の際に事後の補償を提供する保険商品、ご家族の健康を見守る各種医療サービスなどを、トータルにお届けするものです。

セコムは、家庭用「安心システム」を構築することで、ご家庭内のあらゆる「不安」に対応しようとしています。

家庭用防犯対策商品を積極的に提案

近年、治安が悪化しており、ご家庭においても計画的で凶悪な強盗事件や新手の侵入事件が多発しています。そのような犯罪からご家族を守るために、セコムは画期的な防犯対策商品を矢継ぎ早に発売しました。

そのひとつが、ガラスセンサー付き防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」です。これは、窓ガラス



セコム・コントロールセンター



「セコム・ホームセキュリティ」

を割られて賊に侵入される被害に対抗するために開発しました。ガラス自体が防犯性能とセンシング機能を併せ持つ商品で、高い防犯性能があります。ガラスを破ろうとすると、大きな破裂音が出るだけでなく、破るのに時間がかかります。「セコム・ホームセキュリティ」をご契約のお客様であれば、ガラスが割られるとセコムのコントロールセンターに異常信号が送信され、緊急対応員が急行します。「SECOMあんしんガラス」は、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様を中心に高い評価をいただいています。

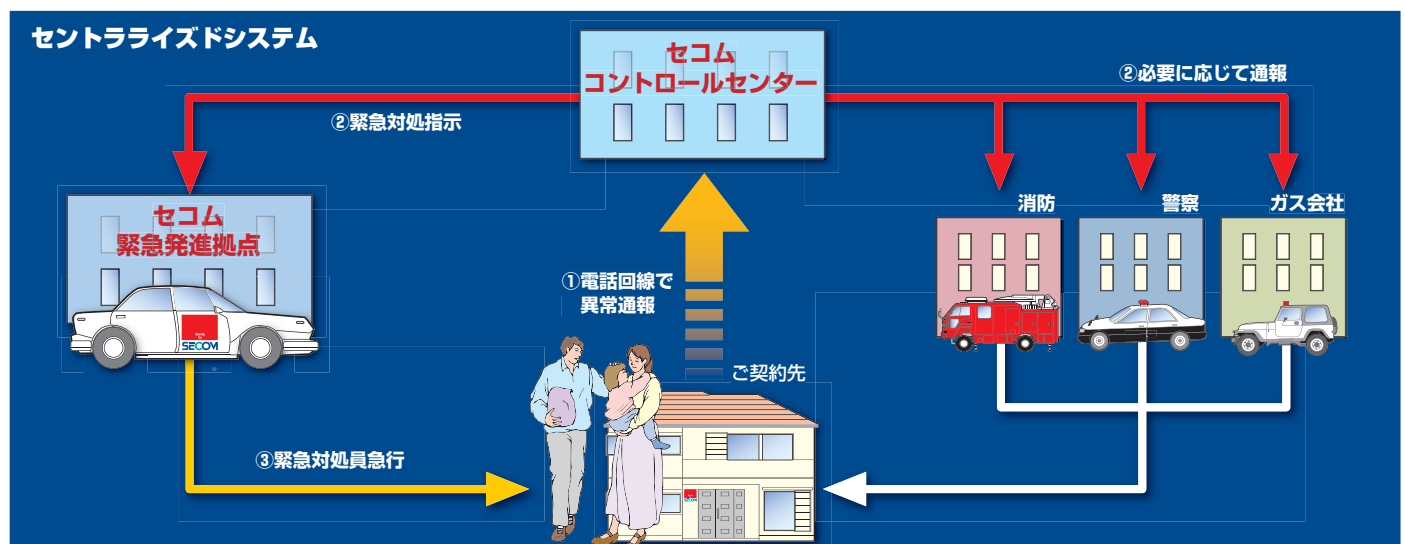
宅配業者などを装って家の中に押し入ったり、インターホンで在宅確認をしてから空き巣に入るなど、



「セキュリフェースインターホン」

犯罪の手口も巧妙化しています。このような犯罪に対抗するために開発したのが、「セキュリフェースインターホン」です。これは日本初の“顔検知機能”を内蔵したインターホンシステムとセコムの家庭監視用カメラシステムを一体化することで、通知・監視・記録・制御など

の機能をすべて備えたトータル画像監視システムです。“顔検知機能”とは、インターホン子機のカメラ映像に「人の顔が映っているか」を判断する機能です。ヘルメットで顔を隠したり、カメラの死角に隠れるなど、意図的に顔が映らないようにインターホン子機を押す不審な行為を検知することで、不用意に玄関を開けることを防ぎます。セコムがセキュリティサービ



すで培ったノウハウと高度な画像処理技術を融合させた「セキュリフェースインターホン」は、セコムならではの独創的なシステムです。

押し込み強盗に対抗して発売したのが、こじ開けや工具を使った破壊行為に一定時間耐えられる強度を持った「ストロングドア」です。寝室の扉を「ストロングドア」に取り替えることで、就寝中のお客様を侵入者から守ります。

窓の外に取りつける「セキュリティ面格子」は、強化処理を施したステンレス製なので、工具を使った破壊行為に一定の時間がかかります。また、切断、取り外しを感知するセンサーを内蔵しているので、異常発生をセコムのコントロールセンターに送信します。

このようにセコムは急増する凶悪犯罪からお客様のご家庭とご家族を守るために、在宅時の安全強化に役立つ防犯システム・商品を積極的に提案しています。

また、防犯だけではなく防火でも、セコムは独創的なシステムを発売しています。「トマホークジェットアルファ」は、住宅キッチンのレンジフードに取り付ける自動消火システムです。住宅キッチン用としては、配管などの工事をすることなく設置できる画期的な自動消火システムで、センサーが約96度の熱を感知するとコンロに向けて強化液を噴射し瞬時に消火、コンロ火災からご家庭を守ります。



「トマホークジェットアルファ」

■ 革新的なメディカルサービスを展開

健康不安を解消する

「セコム・メディカルクラブ」を開始

ご家族の健康への不安を解消することも、ご家庭に「安全・安心」を提供することになります。そのような考えから開発したのが、セキュリティサービ

ス事業とメディカルサービス事業の融合から生まれた「セコム・メディカルクラブ」です。

これまで、「セコム・ホームセキュリティ」をご利用のお客様には、救急通報ボタン「マイドクター」により、万が一の急病のときへの対応サービスを行ってきました。「セコム・メディカルクラブ」では、さらにセキュリティとメディカルサービスを一体的に提供しています。



救急通報ボタン「マイドクター」

2003年11月から開始した「セコム・メディカルクラブ」は、ご家族の健康管理ニーズに応じて、「予防医療関連サービス」「救急医療関連サービス」「医療機関・専門医などの紹介サービス」の3つを柱にしたサービスを提供しています。



「セコム・メディカルクラブ」ナースセンター

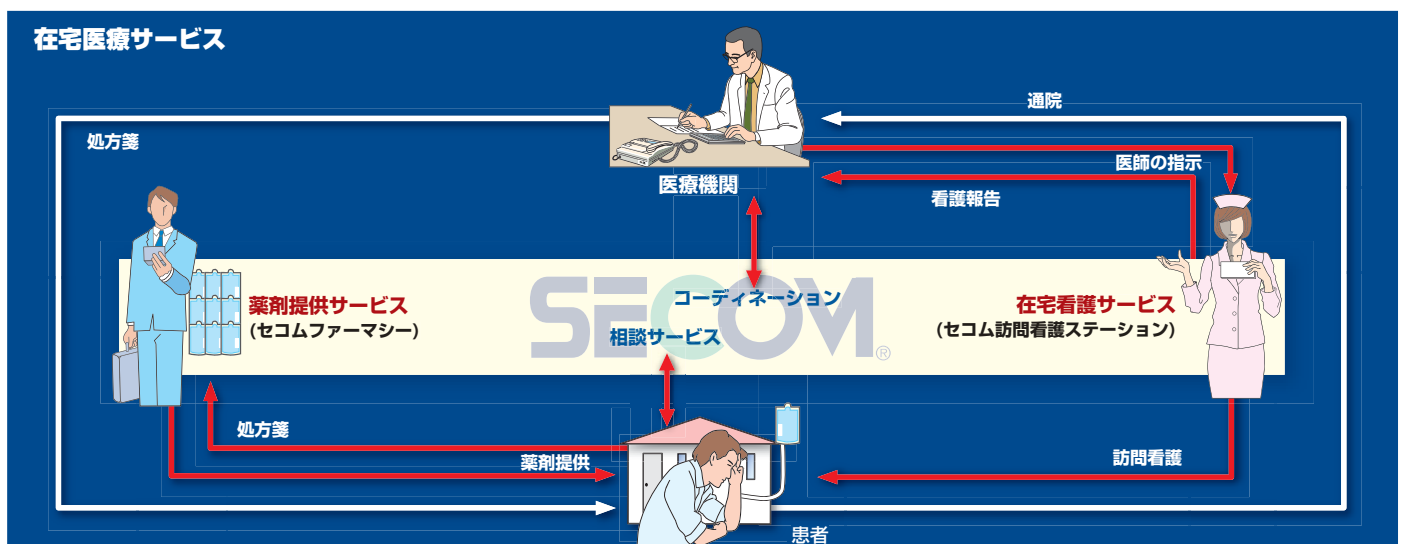
具体的なサービス内容としては、まず健康状態や生活習慣をインターネットや郵送で簡単にチェックできる「生活習慣チェック」があります。これには、「健康度チェック」、問診票により健康状態の評価とアドバイスを提供する「生活習慣ドック」、骨粗しょう症の予防・改善プログラムである「ボーンクラーク」があり、多くのお客様にご利用いただいています。また、フリーダイヤルで看護師が健康上の相談にお答えする「ほっと健康ライン」には、「電話健康相談サービス」「人間ドック紹介サービス」

「医療機関情報の検索サービス」があります。このほか、身体の症状に不安を感じている方へのサービス「きがるに症状チェック」には、心臓に不安を感じている方を対象に、ご自身で測定できる携帯型心電計をレンタルし、送付されたデータを心電図に変換してご利用者宅にファックスする「心電図伝送サービス」があります。

セコムは、今後もお客様の健康維持・増進に役立つという観点から、「セコム・メディカルクラブ」のサービス内容を拡充していきます。

質の高い在宅医療サービスを提供

セコムグループは日本の医療の明日を見つめながら、さまざまなメディカルサービスを積極的に展開しています。



例えば、自宅で療養している患者さんに、「訪問看護サービス」と「在宅介護サービス」で、24時間の「安心」をお届けしています。セコムが日本で初めて本格的に始めた「訪問看護サービス」は、高いスキルと豊富な経験を持った看護師が、定期的に患者さんのお宅を訪問して質の高い看護サービスを提供することで、お客様から高い評価をいただいています。訪問看護師の拠点である医療・介護保険適用の「セコム訪問看護ステーション」は、全国32カ所に拡大しており、多くの患者さんから感謝の声が寄せられています。「在宅介護サービス」は、利用者が在宅で療養する場合、日常生活ができるようにホームヘルパーが身体の清拭、入浴・運動・食事の介助、家事の補助などを行うサービスです。

その在宅医療のノウハウを活かして、2004年5月神奈川県横浜市にオープンしたのが、デイサービス（通所介護）施設「セコムシニア倶楽部たまプラーザ」です。デイサービスは、訪問看護や訪問介護と同じように、介護保険制度で定められたサービスメニューのひとつです。「セコムシニア倶楽部たまプラーザ」を開設したのは、要介護のお年寄りが人とのふれあいや施設内での活動を通じてより自立した生活を送れるようにすると同時に、ご家族を日中の介護から解放するためです。セコムは、この施設で利用者の満足度に重点を置いた活動を行い、さまざまな本格的プログラムを提供していきます。

■ 機能を拡充しながら進化を続ける「ココセコム」

セコムは、セキュリティサービスの対象を、企業からご家庭へと展開してきました。その対象を個人にまで広げた画期的な商品が、セキュリティ、情報系、地理情報サービスの各事業の融合から生まれた位置情報提供サービス「ココセコム」です。「ココセコム」は、GPS（全地球測位システム）衛星と携帯電話基地局を活用して高精度の位置情報を提供し、二輪車や自動車の盗難に加え、高齢者の徘徊や子どもの誘拐事件など、ご家族の行方不明に対する「不安」に対応しています。2001年4月のサービス開始以来、「ココセコム」はお客様のニーズにきめ細かく対応して機能を拡充しながら進化を続けています。



「セコムシニア倶楽部たまプラーザ」

現在、サービスの対象は、人、二輪車、自動車から、現金や貴金属を入れたかばん、建設機械、金庫、ATM、ペット、電動自転車などに拡大。業務車両の運行管理や社員の行動管理などにも利用されています。

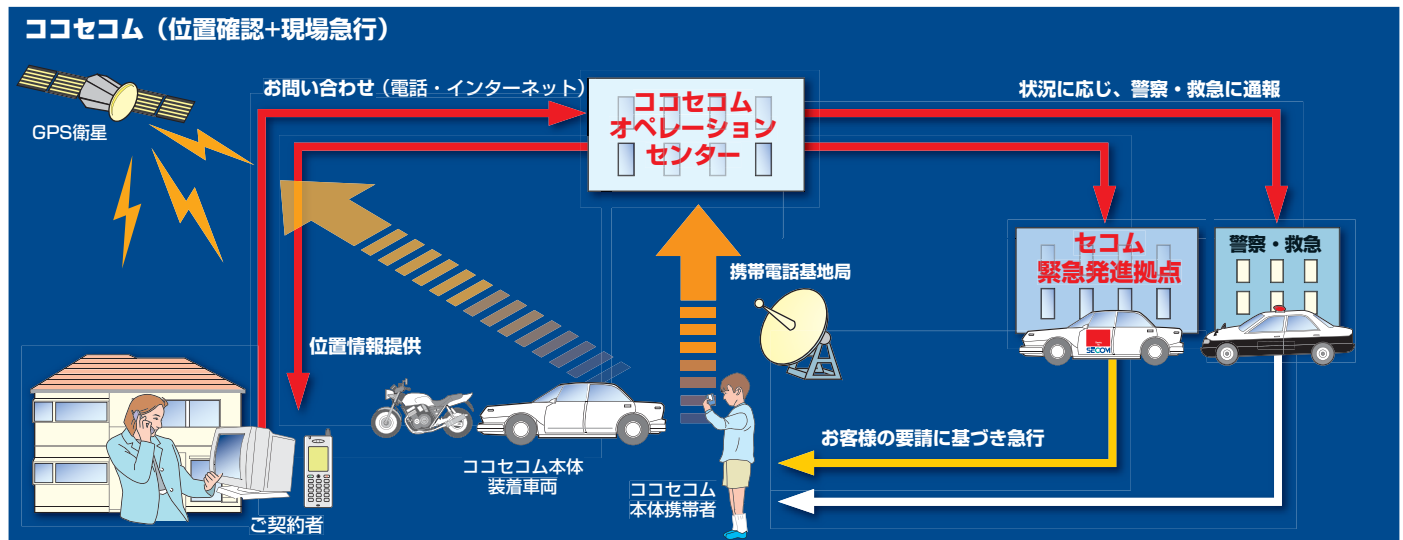
最近、子どもや女性が誘拐や暴漢に襲われる事件が多発しています。このような犯罪を防止するために発売したのが、通報サービス付き新型「ココセコム」です。これは、緊急事態に遭遇したとき、簡単なボタン操作でセコムに通報できるのに加え、オプションとして「しらせてコール」と「みつめてコール」が利用できます。「しらせてコール」は、例えばお客様がインターネット



「ココセコム」

経由で安否確認の信号を「ココセコム」専用携帯端末を持っている子どもに送信すると専用携帯端末が振動し、子どもが専用携帯端末のスイッチを押すとその情報がお客様に返信されて無事を確認できます。「みつめてコール」は、例えば女性がひとりで暗い夜道を歩くといったようなとき、安全な状態であるかどうかをセコムが見守ります。

万一事故が発生したときに専用携帯端末の通報ボタンが押せない状況になっても、一定時間利用者の操作がない場合、異常信号が自動的にセコムに送信されます。



「ココセコム」は、発売当初は高齢者や子どもに持たせて自宅からその位置を確認する、「一方通行のセキュリティ」でした。しかし、このような機能を追加することで、専用携帯端末を持っている人が位置情報を発信できる「双方向のセキュリティ」へと進化しています。



重粒子線治療の治療室
(写真提供：放射線医学総合研究所)

万一被害が発生したときに「事後の補償」をする損害保険を組み合わせれば、お客様の安心感は一段と高まるからです。このような考えのもとにセコムが販売しているのが、セキュリティサービス事業と保険サービス事業を融合させた各種の損害保険です。

■ 事業融合が生み出すユニークな保険商品

セコムは、「安全・安心は、オンライン・セキュリティシステムと損害保険が一体となることで万全になる」と考えています。なぜならば、オンライン・セキュリティシステムは「事前の備え」であり、これに

「火災保険セキュリティ割引」は、オンライン・セキュリティシステムの利用によりリスクが低くなっていることに対応し、低価格な保険料を設定している事業所向け火災保険です。これによりお客様はセキュリティで「安全・安心」を確保するだけでなく、保険料の負担を軽減しながら万一のときの補償を得ることができます。同じような考え方でご家庭に提供しているのが、「セコム安心マイホーム保険」です。これは、ホームセキュリティをご利用のお客様の保険料を安くしたものです。新たなサービスを付加した「NEWセコム安心マイカー保険」は、被保険者の要請によって事故現場にセコムの緊急対処員が駆けつける24時間365日現場急行サービスに加えて、家族そろってゴールド免許割引や「ココセコム」などによる盗難防止装置割引を採用した新型自動車総合保険です。

また、保険サービス事業とメディカルサービス事業の融合は、「メディコム」という画期的な自由診療保険を生み出しました。「メディコム」は、ガンを治すための保険です。これまでは新しいガン治療法が



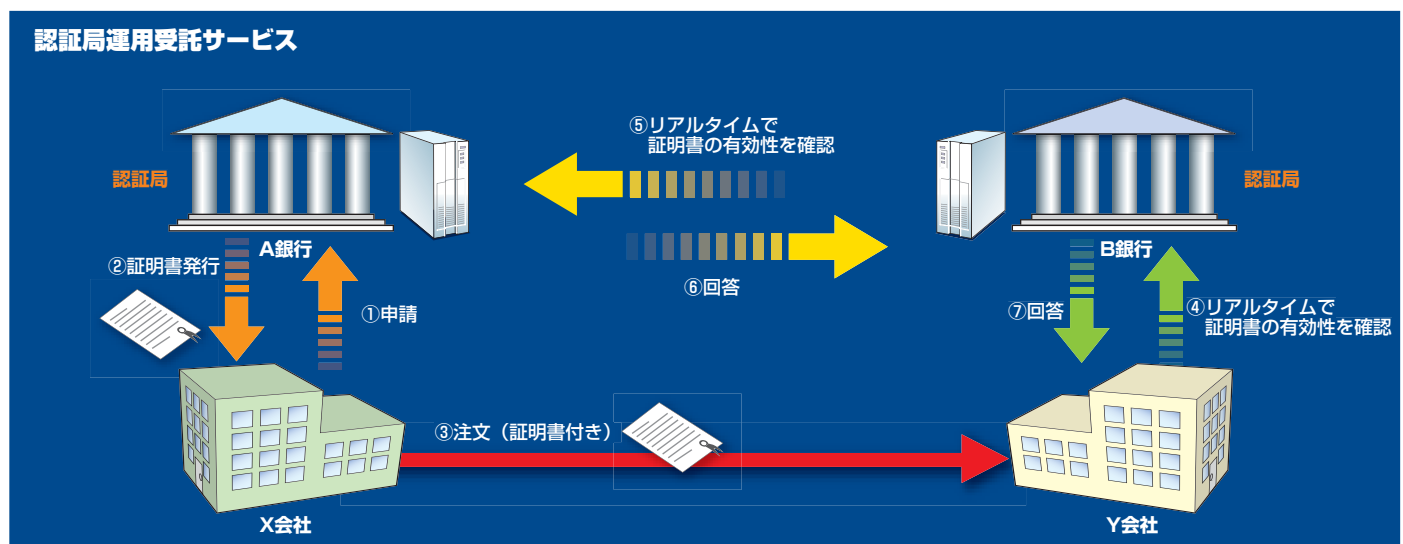
「メディコム」ナースコール

出てきても、公的健康保険の対象外のため、自由診療で受けようとしても多額の費用がかかるので、受けられない人が多く、新しい治療法の普及も進まないという問題がありました。そこで、ガンの種類に応じて最適な治療を行う病院をお客様にご紹介し、治療に要した費用のすべてをセコム損害保険(株)が補償する、まったく新しい考え方の保険として開発されたのが「メディコム」です。

「メディコム」は、2003年11月から、お客様のご要望にお応えして、公的保険診療の場合の一部負担金(患者さんが医療機関の窓口で支払う通常3割負担分)も補償の対象にするなど、商品内容を大幅にグレードアップ。自由診療であっても公的保険診療であっても、患者負担分の治療費実額を補償する内容にリニューアルして、お客様の立場に立った「安心」を提供しています。

■ 情報時代のお客様のセキュリティ・ニーズに対応

近年、社会が一層高度に情報化していく中で、情報セキュリティの重要性は一段と高まっています。情報セキュリティは、サーバーの物理的防護や不正アクセスを防ぐための出入管理などのフィジカルセキュリティと、盗聴・改ざんといったハッキングやコンピュータ・ウィルスへの対策などのサイバーセキュリティの両面を備えて、完全なものになります。セコムでは、フィジカルセキュリティとサイバーセキュリティのノウハウを融合させることで、情報時代のお客様のセキュリティ・ニーズに応えています。



フィジカルセキュリティとサイバーセキュリティの融合が実現した「セキュアデータセンター」

2000年12月からサービスを開始しているセコムの「セキュアデータセンター」は、常駐警備員が24時間警備し、厳格な入退室管理、死角のない監視カメラなど、セコムが長年培ったフィジカルセキュリティのノウハウによる厳重な安全対策に加えて、不正アクセス監視やウィルス監視、電子認証などのサイバーセキュリティを兼ね備え、非常に高いセキュリティレベルでお客様のサーバーをお預かりし、24時間見守っています。



「セキュアデータセンター」シェルタールーム

「セキュアデータセンター」は、日本を代表する金融機関の電子認証局構築・運用の受託や、イギリスの大手製薬会社の日本法人から社外向け情報システムやサーバーの保守管理業務を受託し、高い評価をいただいています。2004年5月からは、最近企業で相次いで

発生した顧客情報流出事件に対応して、内部犯行による情報流出を防ぐ新・情報漏洩防止サービス「鍵開閉履歴報告サービス」と「作業立会いサービス」も開始しました。「鍵開閉履歴報告サービス」では、お客様のサーバーラックを開閉するたびに、当社担当者が日時・社名・所属・氏名の記録を取って、お客様の運用担当者に報告します。「作業立会いサービス」は、お客様の運用担当者、保守ベンダーなどの作業時に、セコムの常駐警備員による立会いを行って不正行為を未然に防ぐサービスです。

従来の建物・施設のセキュリティと同様に、お客様の情報資産のセキュリティも、セコムが提供しています。

情報社会のセキュリティ対策「非接触型ICカードシステム」

治安の悪化や技術革新の進展に伴って、より信頼性と利便性の高いセキュリティシステムが求められてきています。そのようなニーズに応じて、セコムの入退室管理システムも高度に進化しています。



「セキュアデータセンター」作業立会いサービス

セコムの「非接触型ICカードシステム」は、1枚のカードで建物および各フロアへの入退室管理、確実な個人認証と複数サーバーへのアクセスの管理が可能です。このシステムは、フィジカルセキュリティとサイバーセキュリティを高度に融合させることで実現しました。セコムは、「非接触型ICカードシステム」を幅広いお客様にご紹介することで、情報社会のセキュリティ対策を提案しています。



「非接触型ICカードシステム」

社会の幅広いニーズに応えていくことが重要であると考えています。

セコムは、これからも創業以来受け継がれている「既成概念の打破」と「正しさの追求」を実践して、社会に貢献する事業を展開してまいります。そして、セコムグループの全社員は、お客様のあらゆる

「不安」を解消するサービス・商品を提供することで、「セコムにしてよかった」「セコムだから安心だ」というお客様の満足した笑顔を見るために活動してまいります。

すべては、社会の「安全・安心」のために。

セコムグループは今後も「世の中にない」「社会に役立つ」革新的なサービス・商品を生み出し、「セコムブランド」への信頼をさらに高めながら、「社会システム産業」への挑戦を続けてまいります。これからのセコムグループの活躍に、ご期待ください。

■ “あらゆる不安のない社会”の実現に向けて

セコムグループがこれまで発展、成長することができたのは、「だれもが安心して生活できる、便利で、快適な社会を支えるシステムづくり」をめざして、事業を展開してきたからです。セキュリティ、メディカル、保険、情報系、地理情報サービス、教育の各事業はどれも社会基盤となる事業であり、“あらゆる不安のない社会”の実現に欠かせないものです。セコムグループはこれらの事業を通じて、「社会システム産業」の構築をめざしてまいります。

今後、セコムが目標とする「社会システム産業」を構築するためには、セコムが手掛ける各事業・サービスのさらなる統合化・融合化を進め、お客様により付加価値の高い一体化したシステムを提供することで、